

第三回 増田賞

名誉市民第一号で洋画家の故・増田誠画伯をしのび、市内小・中学生の絵画向上のため創設しました、「増田賞」の第三回入選者十二名が決まり、三月三日ふるさと会館で表彰式が行われました。

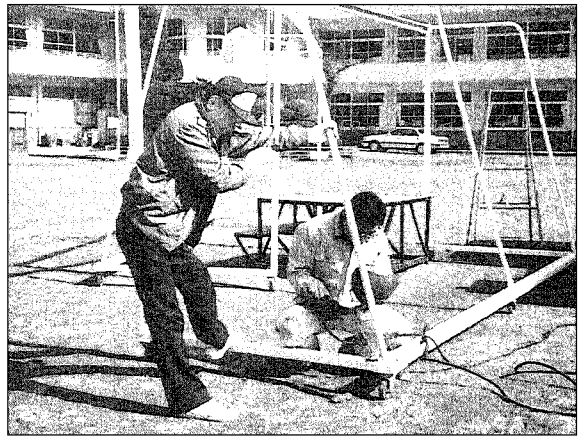
都倉市長から賞状が、横山教育長から盾が、それぞれに手渡されました。

増田賞入選者

小学生 清水亜希子(旭) 高部和伸(宝) 中村朝子(禾生) 志村将史(谷村二) 丸山信也(文大付) 上原俊也、佐藤真美(禾生) 高尾佳代子、平井陽子、富永ゆりか(東桂) 田原ゆか、小太刀あづさ、白水秀征、安富清和(谷村一)
中学生 安富友江、小林麻美(東桂) 庄可雅美、渡辺えみ子、佐藤美穂(都留一) 齊藤久美子、清水鉄也、佐藤知子(都留一)



市長、教育長を囲み増田誠画伯記念碑前で記念写真



都留市鉄鋼建設連合会の皆さんがボランティア活動

自分たちの技術を地域のために生かそうと、都留市鉄鋼建設連合会(平井猛夫会長)の皆さんが、市内小・中学校で修理作業を行いました。三月八日、連合会加盟の十四社の皆さんが自分たちの資材道具を持ち寄って、朝早くから終日ボランティア活動に汗を流しました。

長い間の雨風により錆び付いたサッカーゴールやブランコもプロの腕前で新品同様になりました。

学校関係者は、「壊れた所を直したくても、鉄鋼などは素人ではうまくおせないし、皆さんのお陰で子供たちの安全確保もできる」と大喜び。

連合会では、「これからもこのようなボランティア活動を通じ、自分たちの技術を地域に役立てて行きたい」と意欲に燃えています。連合会の皆さん、一日ご苦労さまでした。

市民俳句講演会

ねりんピック「ふれあい俳句大会」にちなんで、去る二月十五日市役所で市民俳句講演会が開催されました。

「都留市と芭蕉のかかりについて」と題して都留文科大学の楠元六男教授が講演され、芭蕉がどうして都留市を訪れたのか、都留市滞在により作家としての飛躍の土台がいかに築かれていったのかなど、身近な話に約百名の市民が熱心に聴き入りました。



明るい選挙の実現に向けて!

今年の夏には参議院議員選挙が行われます。都留市明るい選挙推進協議会(略して「明推協」といいます。)は、次のことを話し合いました。

規約を改正して、委員を増やし、組織を強化することにしました。

新たな試みとして、市内を九つの地区に分け、各地区に明るい選挙推進協力員(略して「推進協力員」といいます。)をおくことにしました。自治会長や明推協委員などから就任を依頼された方は、進んでご承諾くださるようお願いいたします。

地区協力員の役目は、明推協の会合や大会に参加していただくことです。

明るく住みよい健全な地域社会をつくるため、「贈らない・求めない・受けとらない」の三ない運動を合言葉に、明るい選挙実現のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。